

とうきょうすくわくプログラム 2025年度活動報告

 新渡戸文化子ども園

4歳児（年中組）

▶ テーマ：雲

園庭で遊んでいる最中、

「先生！あの雲ユニコーンに見えるね！」
と発見した子がいました。

そこから雲の形を眺めたり、タブレット端末で写真を撮って
印刷して、様々なものに見立てたり…

「雲」への興味がどんどん広がっていきました。



4歳児（年中組）

雲の観察をしていくうちに、しだいに雲のできる仕組み、空の色など、様々なものに興味を持ち始めた。子どもの興味を大切にしながら、調べたり観察をしたり実験を行いました。廊下には雲チームさんの探求の道のりがわかる写真などが飾られています。



4歳児（年中組）

10/12 探究テーマ：雲（水の変化の実験）

「もくもくしているね」

「何もついてないね」

「あれ、？」

「雲が水に変わった・・・!!!!」

雲の「形」への興味から「何からできているか」についての興味が高まってきた雲チーム。図鑑で「雲みたい」と見つけた水蒸気の観察実験を行いました。

沸騰した水が見えなくなったり、冷たいお玉で冷やされた水蒸気が水が変わったりする様子を見て水の変化を実感していました。



4歳児（年中組）

10/12 探究テーマ：雲（水の変化の実験）

保育者の関わり	園児A	園児B	園児C	園児D	園児E	園児F
（水が沸騰してきて）どうなっている？			雲になってる！		分からない・・・	
じーっとみてごらん。	あつ！ちょっとみえてきた	爆発するかもしれないよ！！		白いの見える！	（水蒸気に築いて食い入るように見ている）	ふわふわしてきた！
（水蒸気は）雲とすぐ一緒？			ぼかぼかしている		すぐ一緒ではない	
もくもくは、は水の近くと上の方だとどっちの方が白い？	下の方が水が見える	熱そうだね・・・！		上の方も薄いけどもくもく	水はサイダーみたい	
（水蒸気が空気で冷やされて湯気としてもくもくして見えることを説明） （お玉をかざして水へ変化の様子も観察）	たしかに！	たしかに！	全部水だね！！		ゆげはあついのかな？	氷も水が変わったの？
水、水蒸気、氷の関係性を図鑑で調べてみよう						

振り返りによって得た先生の気づき

- ・子どもたちは雲が水の粒の集まりだということを知り、水にも興味を持っていた。
- ・観察をする中で、水の変化には温度が関係していることに気づき、氷との関係の話が出てきたことに驚いた。
- ・この実験の前にペットボトルで雲を作る実験も行ったため、次回は雲の作られ方を知る方向性で行ってみたい。

4歳児（年中組）

11/19 探究テーマ：空・雲をかいてみる

「青いねえ」

「雲は全部同じじゃないね」という子どもの言葉から雲を観察して、お気に入りの雲や空を見つけて絵の具で「お気に入りの空」を表現しました。

青は青でも
絵具の色のまま使う子、
少し白を混ぜる子、
絵具のかすれ具合で表現する子

1つの空から9通りの空の感じ方がありました。

また色を混ぜる楽しみを見つけた場所が紙の上なのか、紙皿の上なのかで空の色使いや紙皿の色の塗られ具合にも違いが見られました。



4歳児（年中組）

11/19 探究テーマ：空・雲をかいてみる

保育者の関わり	園児A	園児B	園児C	園児D	園児E
じっくりみてみてね		真剣に取り組む（べた塗も多い）			
空はただの青かな？ 今何色かな？	「青」	「水色！」	「でも水色の青（そのままの色で）使いたくない」	「水色できた！」	空を見る
すこしずつ混ぜたら水色にもなるよ	紙の上で色を混ぜながら描く 「指でちょんちょん（白で雲を描く）のが生クリームみたい」		空と見比べながら色を混ぜる	紙の上で色を混ぜながら描く	紙に集中して雲を描くことに集中する 紙皿の上で水色を作ることに集中する

振り返りによって得た先生の気づき

- ・子どもたちこちらが想像していたよりも真剣に取り組んでいた。
- ・観察中に雲が徐々に無くなっていってしまったが、雲を想像して描いたり、空の色をよく見て色を調整していた。
- ・また色を混ぜる場所も紙の上で混ぜる子や紙皿の上で混ぜる子と様々で、紙や紙皿を見るとそれぞれがどのように活動を楽しんでいたかが分かりとても興味深かった。

5歳児（年長組）

▶ テーマ：雲

「雲に乗ってみたい！」

「どんな味がするんだろう？」と
たくさんの問いがでてきたことから
雲について様々な角度から調べることになりました。

日々観察することで“発見”に
出会えています。



5歳児（年長組）

9月

「きれいなくもみつけた！」

この日は久しぶりの快晴。
青空に波のような雲を見つけ、登園してすぐかばんも置かずに急いで写真に収めている姿です。
くものたんきゅうを進めるようになってからは、空を見る習慣がついており、不思議な雲を見つけると部屋の中の子たちに向かって「来て！見て！」と喜びを共有する姿が見られます。
毎日異なる雲が見られることに気づき、観察を楽しんでいます。

興味を持ったことに対する熱量のすごさに日々驚かされます。
記録用にタブレット端末内にフォルダーを作成しました。また、外に出た際や素敵な雲を見つけたさいには写真を印刷し掲示することで、見比べられるようになり、日々雲の変化に気づききっかけになっています。



5歳児（年長組）

9月

「しろくなった！」

「くもってのれるのかな？」「くもってどんなあじかな？」と雲に対する想像が膨らんでいく子ども達。
たくさんの疑問を探っていくためにも、まずは作ってみることにしました。方法を調べて道具を集め、空気を入れて温度管理を行って…やっとのことでペットボトル内が白くなった時の喜びが大きく、感激していました。失敗すると空気を入れる量や水分量を調節する姿が見られました。

空の観察だけでなく、実際に作ってみることで雲ができる仕組みにも興味を持つことができました。まだ失敗も成功も半々だったため、自分たちで試行錯誤しながら作る姿に感心させられました。



5歳児（年長組）

10/27

「言えない色してる！」

この日は空の色を絵の具で表現してみました。テラスで空を見ながら「こっちは白？だけど水色も入ってて黄色？ピンク？なんか…言えない色してる！」と言葉では言い表せない色が目に映っているようでした。

“言えない色”という言葉に、色の複雑さを子どもが一生懸命表現しているのだと感じました。色鉛筆やクレヨンでの表現も考えましたが、絵の具で混ぜ合わせて色を作るということに夢中になっている子ども達の様子がありましたので、今後も表現を楽しめる環境設定をしていきたいと感じました。



5歳児（年長組）

10/27

保育者の関わり	園児A	園児B	園児C
「うす雲は空の上のほうでできていて、これが見られた後は雨になるかもしれないんだって」	(タブレット端末で天気を調べて)「雨だったんだって！すごい！」	「O/Oの雲観察のとき、うす雲写ってるね！」	「夕方とかに雨になったんじゃない？ずっと雨だったよね」
「空を見て、明日は晴れるとか、これから雨が降るなってわかるようになったら楽しそうだね。」	「ひつじ雲はでもすぐに消えちゃうんだって！」	「このひつじ雲の間みんなて外遊びいったとき見たよね！」	「ひつじ雲とうろこ雲って大きさが違うんだよね」
	「ひつじ雲ってひつじさん達が逃げちゃうみたいに雲がすぐなくなっちゃうのかもね」	「じゃあこの間見れたのはすごいことだったんだね」	「これ！わた雲って前みた餃子雲だ！」 タブレット端末の写真データからみんなに見せる
	「こんなに大きいさようざあったら食べたい！」	「ほんとだ！餃子だ！」	「お願いっばいになっちゃいそう！」

振り返りによって得た先生の気づき

- ・図鑑やタブレット端末で調べることが当たり前になっている子ども達ですが、日々空の観察をしていると実体験として自分の目で見ると喜びを味わっている様子があります。
- ・色にしても、形にしても、子ども達の発想は計り知れないので、様々な形で表現できる場を作っていくかなければならないと改めて感じました。

5歳児（年長組）

11/17

日々の雲の観察を経て、空の上の方には薄い雲、下の方には厚い雲ができ、それぞれに特徴があるということを知った子ども達。楽器を使って“雲”を表現することに挑戦してみました。

低い音でゆっくりとしたリズムを打ち、入道雲のような大きく厚い雲を表現している子。

風に吹かれ筋のように細い雲は横にパチをスライドさせ流れを表現している子。

一人ひとりの感じ方が異なることを再認識し、自分と違った表現をしている友達を見てまた新しい気づきを感じていました。



5歳児（年長組）

“雲を身体で表現してみよう！”ということで様々な雲を見て、身体での自由表現を行う時間を設けました。今まで撮ってきたいくつもの写真を見て、思い思いに身体を動かしていました。その中でうろこ雲を表現するにあたり「小さな点をたくさん表現したい」という思いから手の平を広げて指一本一本を強調してみたり、腕を大きく広げてみたりする中「手じゃ足りないよ…」と仰向けになり足を使って表現する姿がありました。子ども達の伸び伸びとした表現力に思わず笑ってしまいました！



影でも挑戦！
想像して身体を動かすのとは
また少し違い、自分の影の形を
実際に見ながら雲の形をじっくり観察し
表現していました。

手と足を使って点を表現したり
長く伸びた雲を手先の先から足先まで
伸ばして表現したりと
こちらも想像力豊かな表現をする
子ども達でした。

5歳児（年長組）

12/15

「雲の写真を見ながら絵を描いてみたい！」子ども達からのアイデアで絵の具を使って画用紙に絵を描く時間を設けました。

水を足すと薄い雲が表現でき、何度も絵の具を塗ると厚みのある雲ができ、自分の好きな雲をそれぞれが描いていました。

「これは細かい点だからひつじ雲じゃなくてうろこ雲だろうな」と知識も踏まえ、絵に落とし込む子ども達の様子に感心させられました。



合同の探究活動

偶然、同じ「雲」を探究していた年中・年長の園児たち。
一緒に探究を行なう機会も設けました。



合同の探究活動

2/4

子どもの姿	・毎日空を見上げて「鱗雲だね」「あの雲〇〇みたいだね」「金色に輝いてる！」などの発言をするようになった。
「問い」を考える	・どんな雲があるといいかな？ ・何色使ってみる？
活動をデザインする	・見たままでなくても雰囲気を感じ取り、空を子どもなりに感じて様々な色で表現する。 ・他の子どもの作品も見ることで、様々な感じ方があることを知る。
環境をデザインする	・静かで集中できる、また広々としたグラウンドで行う。 ・アクリル絵の具は青系だけでなく、ピンク、黄色を用意しておく。（様々な表現ができるように）青も何種類か用意する。 ・年長組の雲チームと一緒に活動することで新たな刺激を得られるようにする。
小グループを構成する	・2枚シートを敷いて年中長混合のグループを作る。

環境構成の図



振り返り
今回、雲にまつわる発言は少なかったが、集中して手を止めることなく描いている姿が印象的だった。最近実験をすることが多かったが、雲そのものにより興味を持ってもらいたいという思いから描く活動を今回も含めて3回行った。子どもたちも慣れてきて、それぞれ想像したものを表現しやすくなってきているように感じる。次回は綿を使った製作も行ってみたい。

保育者の関わり	園児A	園児B	園児C
どんな雲があるといいかな？	(絵具が)すべる、、(ひたすら色を混ぜて空を作る)		(水色の空に線になっている雲を描いている)
なんで黄色をつかったの？		夕日が出ている感じにしたの！ みて！面白い雲！（アイスクリーム雲） こんな雲面白いじゃない？	

合同の探究活動 2/4

「こんな雲のおもしろいんじゃないー？」

毎日空を見上げて、「鱗雲だね」「あの雲〇〇みたいだね」「金色に輝いてる！」などの言葉が子どもたちの中で飛び交っています。雲をより近く、様々な感じ方をしてほしいという思いから指で空を描く活動を行っています。はじめはスカイブルーと白だけでしたが、紺青色、水色等青の種類を増やしていき、今日は表現の幅が広がるようにピンク、黄色も加えてみました。
「みて～夕日が出ている感じにしたの！」
「ちょっとここはピンクがいいかなっておもったんだ」
「全部まぜて青つくったよー」
などそれぞれ空を感じて集中して表現をしていました。子どもたちの目にはどのように映っているのか、見てみたくまりました！



合同の探究活動 3/19

これまで行ってきた探究これまでの活動の集大成として、それぞれのお気に入りとなった雲を、アクリル・水彩絵の具・ねんど・クレヨンなどを使用して表現しました。



【探究を振り返って】

探究活動当初は、表現するとなると「正解」を求める子が多く、見えている雲を忠実に表現しなければと思いつぎてしまい、考えこむ様子が見られました。しかし空を観察していく上で、見えている色が異なったり同じ雲を見ているけど違うものに見立てていたりすることを、友達同士の対話で感じており、それぞれ感じ方が違ってそれがよいということを知る機会になったようにも思います。そのため活動を重ねるごとに伸び伸びと表現したり自分がイメージしたことを表現したいという思いが強くなったりする姿が見られるようになりました。

